

米国企業 Western Digital でのインターンシップ

理学系研究科物理学専攻 博士1年 坂本 祥哉（藤森研）

2015年6月8日-9月8日の三ヶ月間、アメリカのカリフォルニア州サンノゼにある米国企業 Western Digital にてインターンシップを行った。サンノゼ市周辺はシリコンバレーと呼ばれ、IT 企業を中心とした大企業が軒を構える地域である。その中で Western Digital は HDD 産業の最大手であり、そこでは活発な研究開発が行われている。

近年、既存の磁気記録媒体を用いた磁気ビットの高密度化は超常磁性限界と呼ばれる壁にはばまれ、難しくなってきた。私は Dr. Antony Ajan のもとで、その壁を克服する次世代の HDD 技術である熱アシスト磁気記録（HAMR）に用いられる磁気記録層の研究開発に従事した。研究では実験、理論の両面から新しい物質にアプローチし、一定の成果を上げることができた。

三ヶ月間のインターンシップを通して、米国の企業では多数の博士人材が活躍していることが分かり、博士の重要性を実感した。また大学と企業における研究の違いを体験できたことや、国際的な環境で仕事できたことは、博士課程修了後のキャリアを考える上で非常に良い経験となった。最後に、私を快く受け入れてくれた Western Digital 社とチームのメンバー、その仲介を行ってくださった大槻朋子教授、Dr. Avi Mukherjee 氏、この素晴らしい経験を支援してくださった ALPS に多大なる感謝を申し上げたい。



他のインターン生(Heidi, Marco, 私, Yizhou)と会社前にて